成果の説明書

(氏名)　藤本　哲	(学部)　経済学部

1　重要事項

地域科学研究所，製造業プロジェクト研究第３弾に関して，担当企業の取材を行なった。資料を収集し，中間報告を行なった。

遠隔授業の時期に行なった，受講生同士の意見交換に関する質問票調査のデータ分析を継続して実施した。さまざまな仮説に基づいて分析を行なったが，統計的に有意な結果は得られなかった。最も重要な結果として，各受講生の匿名性の認知の大小が当該受講生の発言数の多少と相関しているという仮説には，有意な結果は得られなかった。このことから，発言を増加させる要因は複数あり，一般的に言われている匿名性の効果は思われているほど重要ではなさそうであることがわかった。

2　その他の事項

3　次年度以降の計画・抱負

受講生同士の意見交換を活発にする要因の探究については，有意な結果が見つからないので，現時点までの結果を公表するべく準備する。